

STMCP-1005-6

ハイビジョン 対応メモリーカードプレーヤー

取扱説明書

Ver1.0



株式会社シルバーアイ



1. はじめに

この度は、STMCP-1005-6 をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前に必ずお読みください。
この取扱説明書は、大切に保管します。







・安全上の注意

〈必ず守っていただくようお願いします〉

本装置を安全に正しくお使いいただくため、または機器の損傷を防ぐため、次の記号を使って注意事項を喚起しています。

| | |
|--|---|
|  警告 | この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|  注意 | この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

絵表示の例

| | | |
|---|---|---|
|  |  | 記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。左の表示例は「警告または注意事項」があることを表しています。 |
|  |  | 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 左の表示例は「分解禁止」を表しています。 |
|  |  | 記号は、行為を強制する内容を告げるものです。 左の表示例は「電源プラグをコンセントから抜く」ことを表しています。 |



警告

| | |
|--|---|
| | 本体の内部や隙間に金属片を落としたり、水やコーヒーなどの液体をこぼしたりしないでください。 火災や感電、故障の原因となります。 |
| | 電源ケーブルを無理に曲げたり、上に重いものを載せたりしないでください。電源ケーブルに傷がついて火災や感電の原因になります。 電源ケーブルに傷がついた場合は使用しないでください。 |
| | 本体および AC アダプタは絶対に分解や改造しないでください。 発熱、発火するなどして、火災や事故の原因になります。 |



注意

| | |
|--|--|
| | 指定以外の AC アダプタは使用しないでください。 発熱、発火するなどして、火災や事故の原因になります。 |
| | 湿気の異常に多い場所や水分のかかる可能性のある場所では、絶対に使用しないでください。 火災や感電、故障の原因になります。 |
| | 電源ケーブルや接続ケーブルをコンセントやコネクタから抜くときはコネクタ部分を持って外します。 ケーブル部分を引っ張ると故障の原因となります。 |
| | 次のような場合は電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 ◆ 異常状態から回復できないとき ◆ 異臭がする、煙が出た、または異常音が発生したとき ◆ 本装置の内部や隙間に、金属片や水などの異物が入ったとき。 異常状態のまま使用すると、事故や火災の原因になります。 |

次のような異常が発生した場合、速やかにコンセントから電源を抜き、当社へ連絡下さい。

- 煙が出た、においが出た
- 異常な音が出た
- 水や異物が入った
- 製品を落とした
- 製品が破損した

・使用上の注意

火災や感電を防ぐため、以下のような場所には設置しないで下さい。

- 風通しの悪い場所
- 湿気や埃の多い場所
- 異常に高温な場所
- 熱器具に近い場所
- 十分な固定ができない場所
- 激しい振動のある場所

・お手入れの仕方

- お手入れをする際には、まずコンセントから電源を抜いてから開始します。
- 薄い中性洗剤を含ませた柔らかい雑巾を絞って使用下さい。乾いた雑巾を使用すると、本体塗装や受光部に傷が付くことがあります。
- 濃いアルコール、シンナー、ベンジンなどは塗装や、アクリルパネルの損傷を招くため使用しないで下さい。
- 化学雑巾を使用する際は、その注意書きに従ってください。

・制限事項

- 本製品はコンピュータに接続することは出来ません。
- 本製品がサポートする再生可能なファイル形式について、全ての環境で動作を保証するものではありません。
- 本製品を使用することにより生じた直接、間接の被害、データの消失等については、弊社では一切その責任を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、など人命に関わる設備や高度な信頼性を必要とする設備、また用途などでのこれらの用途での使用は意図しておりません。このような環境下での使用に際しては一切の責任を負いません。

・その他のお知らせ

- 本書の内容に関しましては、将来予告なしに変更する場合がございます。
- 本書の内容に関しましては、万全を期して作成しておりますが、万一ご不明な点や、誤りなどお気づきになりましたら弊社までご連絡いただきます様お願いします。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様を変更する場合がございます。
- 本製品は日本国内での使用のみ保証が適用されます。
- 本書及び本製品に使用されている、社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。

目次

| | | |
|-----|------------------------------|----|
| 1. | はじめに..... | 1 |
| | 安全上の注意..... | 1 |
| | 使用上の注意..... | 3 |
| | お手入れの仕方..... | 3 |
| | 制限事項..... | 3 |
| | その他のお知らせ..... | 3 |
| 2. | 特徴..... | 5 |
| 3. | 機能..... | 5 |
| 4. | 付属品..... | 6 |
| 5. | 仕様..... | 7 |
| 6. | STMCP-1005-6 の各部と機能..... | 8 |
| 7. | 赤外線リモコン..... | 9 |
| 8. | セットアップ..... | 11 |
| | ジェネラル設定..... | 11 |
| | 再生設定..... | 13 |
| 9. | 再生機能..... | 14 |
| | 電源オンの自動再生..... | 14 |
| | プレイボタンでの再生..... | 14 |
| | USB/SD カードにボタン定義ファイルの作成..... | 14 |
| | プレイボタンの接続..... | 16 |
| | 静止画と音声の BGM 再生..... | 17 |
| 10. | RS-232C の制御機能..... | 18 |
| | コネクタ端子..... | 18 |
| | プログラミング時の接続..... | 18 |
| | RS-232C のコマンド..... | 18 |
| 11. | トラブルシューティング..... | 20 |
| | 保証書..... | 21 |

2. 特徴

STMCP-1005-6 は SD(HC)メモ리카ード/USB フラッシュメモリに記録された画像、映像、音楽をハイビジョン品質で簡単に再生できる装置です。また、業務用途としての使用を想定し、各所に特徴を持っています。再生可能フォーマットは JPEG、MPEG、MP3 など電源オンで自動再生開始が可能です。

コンテンツのメディアは、市販の SD(HC)メモ리카ードが使用可能です。収録するコンテンツの長さ、量に応じて幅広い製品から目的に応じた容量のメディアを選んで使えます。メディアの記録形式は、普及している FAT 形式で、パソコンでの書き換えはもとより、デジタルカメラで記録された写真(JPG データ)もそのまま表示可能です。

STMCP-1005-6 は DVD メディアよりも小さな、非常にコンパクトな大きさで、据え置きが可能で、設置場所にも困りません。

このように、STMCP-1005-6 は教育分野、広告分野、ホームエンターテイメント、ビジネスプレゼンテーションの各分野において、大変有効にご利用いただけます。

3. 機能

STMCP-1005-6 は、非常に高性能に作られており、下記の機能を備えています。

- フルハイビジョン対応 1080i/P で高画質再生
- 再生ファイル：ビデオ(MPEG1/2/4、H.264、AVC、VC1、WMV、RM/RMVB など)
写真(JPEG、PNG、BMP、GIF、TIFF)；音楽(WMA、MP3、WAV など)
- 出力：HDMI/CVBS、ステレオ音声
- 写真と音楽をバックグラウンドとして演奏できる
- サポート SD(HC)の 1GB～32GB
- 電源ONで自動再生
- PLAY-BUTTON(動画選択)対応
- 省スペースでの設置可能
- 推奨動画：MPEG2 HD(Main Profile/High Level)
※拡張子は mpg(1920×1080P まで可能)
※映像ビットレートは、MPEG2 の場合、Max.40Mbps

4. 付属品

STMCP-1005-6 には下記のものが含まれています。

※販売時の形態によってはこれと異なる場合があります

| | |
|--------------------|-----|
| ■ STMCP-1005-6 本体 | 1 台 |
| ■ AC アダプタ 12V/1.5A | 1 個 |
| ■ リモコン(電池付) | 1 個 |
| ■ 取扱説明書 | 1 冊 |
| ■ SD 保護カバー | 1 個 |



STMCP-1005-6 本体



AC アダプタ



専用リモコ



取扱説明書



SD 保護カバー

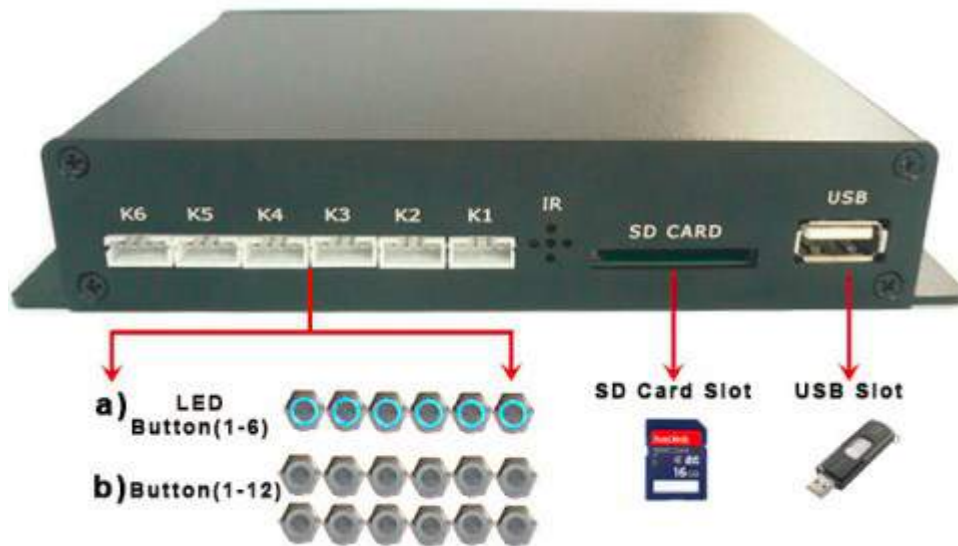
5. 仕様

| | |
|---------------|---|
| モデル | STMCP-1005-6 |
| 対象メディア | SD(HC)/USB フラッシュメモリ 2.0 ※Windows PC にてフォーマットのこと(Mac は不可) |
| 音声出力調整 | リモコンによる調整 |
| 入力電圧 | DC12V/1.5A |
| 消費電力 | 5W |
| 設置方法 | 据え置き |
| リモコン | 赤外線方式(CR2025 3V リチウム電池 x 1 個) |
| サイズ(幅*奥行き*高さ) | 幅 157mm × 高さ 28.5mm × 奥行 103mm |
| 重量 | 300g(本体のみ) |
| 動作温度 | 0°C~40°C |
| 保存温度 | -10°C~60°C |

| | |
|------------|---|
| 操作方式 | 電源オンによるコンテンツの自動再生開始と、赤外線リモコンを用いたメニュー画面による操作 ※オプションで Play-Button による選択再生可能 |
| 対応再生フォーマット | 動画: MPEG1/2/4、H.264、AVC 静止画: JPEG、PNG 音楽: WMA、MP3 |
| 写真再生モード | 自動スライドショー、スライドショー間隔設定、画面切り替え効果設定 間隔: 2 秒、5 秒、10 秒、30 秒 <EFFECT>機能 ユーザーでの変更・指定が可能 |
| 自動再生モード | メインメニューを経由せず指定ファイルの自動再生 VIDEO(動画)、PHOTO(静止画)、MUSIC(音楽) PLAY ボタンを用いた動画(6 個までのコンテンツ)の選択再生 |

6. STMCP-1005-6 の各部と機能

正面:



裏面:



オプション: Play-Button

7. 赤外線リモコン



赤外線リモコン上の表記とその機能は下記の表 1 に示します。

なお、自動再生 (AUTOPLAY) モードにしておく限り、通常の運用においては、リモコンは必要ありません。

<リモコン使用時の注意>

- リモコンは、液体のかかる場所や、熱、衝撃、振動のある場所から避けてお使いください。
- リモコンの伝達距離が短くなったと感じたら電池を交換します。
- 電池が弱くなったときや、長時間使用しないときは、取り外します。

放置したままにしておきますと液漏れの原因となります。

- 電池を正しく装着しないと故障の原因となります。

表 1

| No. | 名前 | ボタン | 機能 | No. | 名前 | ボタン | 機能 |
|-----|-----------|---|--|-----|---------------|---|--|
| 1 | Power |  | 電源On/Off | 21 | Setup |  | システム設定メニューに入る |
| 2 | Title |  | タイトル表示 | 22 | Zoom |  | ズーム切替 写真: 2X、4X、8X、16X ビデオ: 2X、3X、4X、8X |
| 3 | Info |  | インフォメーション | 23 | Left (Arrow) |  | 左移動のメニュー操作 |
| 4 | Mute |  | ミュートOn/Off | 24 | Right (Arrow) |  | 右移動のメニュー操作 |
| 5 | Numeric |  | 数字入力 | 25 | Up (Arrow) |  | 上移動のメニュー操作 |
| 6 | Numeric |  | 数字入力 | 26 | Down (Arrow) |  | 下移動のメニュー操作 |
| 7 | Numeric |  | 数字入力 | 27 | OK |  | 設定の確定 |
| 8 | Numeric |  | 数字入力 | 28 | Vol - |  | 音量Down |
| 9 | Numeric |  | 数字入力 | 29 | Vol+ |  | 音量Up |
| 10 | Numeric |  | 数字入力 | 30 | Audio |  | 音声チャンネル選択 |
| 11 | Numeric |  | 数字入力 | 31 | Subtitle |  | 字幕表示 SRT、SMI、SUB、SSA SRT、SMI、 SUB、SSAフォーマットをサポート |
| 12 | Numeric |  | 数字入力 | 32 | Resume |  | リジューム |
| 13 | Numeric |  | 数字入力 | 33 | Angle |  | 視角変更 |
| 14 | Numeric |  | 数字入力 | 34 | Pause |  | 再生一時停止 |
| 15 | Repeat |  | リピートプレイ | 35 | Return |  | リターン |
| 16 | Time seek |  | タイトル(コンテンツ)の 再生時間設定 | 36 | Stop |  | 再生停止 |
| 17 | TV Mode |  | テレビモードの切替 NTSC Interlaced、NTSC Progressive、 PAL Interlaced、PAL Progressive | 37 | FR |  | 巻き戻し再生 |
| 18 | Home |  | ホームに戻る | 38 | FF |  | 早送り再生 |
| 19 | Menu |  | メニューに入る | 39 | Previous |  | 前のコンテンツに戻す |
| 20 | Slow |  | スロー再生 3/4、1/2、1/4、1/8、1/16x | 40 | Next |  | 次のコンテンツに進む |

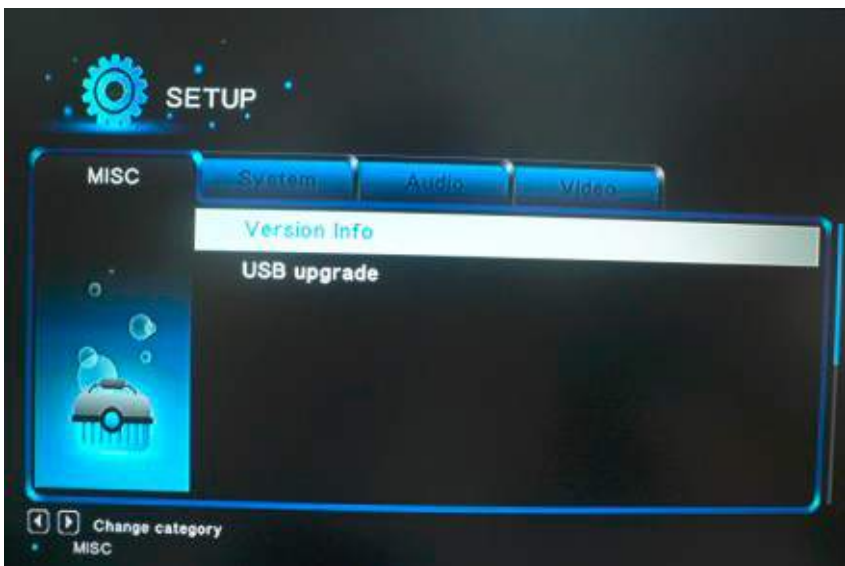
8. セットアップ

8.1 ジェネラル設定

再生中に“Setup”ボタンを押すと、SETUP メニューが表示されます。

- ・“←”/“→”を押して、メニューの Tab を切替え出来ます。
- ・“↑”/“↓”を押して、サブメニューや設定値を選択出来ます。
- ・“OK”を押して、選択した設定値を確定
- ・“RETURN”を押して、上層のメニューに戻す。





8.2 再生設定

再生中に“Menu”ボタンを押すと、画面の右下側に再生設定メニューが表示されます。

・動画再生中のメニュー



・写真再生中のメニュー



- ・“↑”/“↓”を押して、サブメニューや設定値を選択
- ・“OK”を押して、選択したサブメニューを開く、又は設定値を確定

9. 再生機能

9.1 電源オンの自動再生

USB メモリ又は SD カードのルートにあるコンテンツファイルを再生します。但し、デフォルト中のコンテンツファイルは再生しません。

コンテンツの再生順は、動画 → 静止画 → 音声 になります。

9.2 プレイボタンでの再生

9.2.1 USB/SD カードにボタン定義ファイルの作成

例えば、ルートディレクトリで下記のファイルとフォルダがあるとします。



- ・autoplay.txt はボタン定義ファイル
- ・01 と 02 のフォルダのファイルはプレイボタンにより再生する
- ・Avatar と flowers はルートディレクトリの中でリピート再生する待受けコンテンツ

I . autoplay.txt の構成

例えば、下記の autoplay.txt を作成しました。

```

volume=20
irmode=1
01=01/
02_02=02/
vol_plus=03
vol_minus=04
NEXT=05
PREV=06

```

定義内容の説明:

```

volume=20      : デフォルト音量
irmode=1       : プレイボタンモード
01=01/         : ボタン 1 で 01 フォルダのファイルをシングル再生
02_02=02/     : ボタン 2 で 02 フォルダのファイルを繰り返し再生
vol_plus=03    : ボタン 3 で音量アップ
vol_minus=04   : ボタン 4 で音量ダウン
NEXT=05        : ボタン 5 で次のファイルを再生
PREV=06        : ボタン 6 で前のファイルを再生

```

II. 選択再生中の動作の定義

- ①再生割込み不可の“NO INTERRUPT”、又は再生割込み可の“INTERRUPT”機能は autoplay.txt で定義できます。

例えば:

01=01/

02[n]=02/

“[n]”で 02 フォルダのファイル再生は割込み不可を定義します。即ち、02 フォルダのファイルを再生している間に、ボタン 1 を押しても、02 フォルダのファイル再生は中断されず、01 フォルダのファイルの割込み再生は行われません。

- ②フォルダ毎の音声モードと音量は autoplay.txt で定義できます。

例えば:

volume=15

irmode=1

00[av:off][spdif:off][hdmi:off]=/

01[hdmi:off][av:off][n]=01/

02[av:off][spdif:off]=02/

03[hdmi:off][spdif:off]=03/

04=04/

05[av:off]=05/

06[n][vol:10]=06/

設定内容の説明:

- ・“av” : 音声は AUDIO 端子から出力
- ・“spdif” : 音声は OPTICAL 端子から出力
- ・“hdmi” : 音声は HDMI 端子から出力
- ・“off” : 音声は出力しない
- ・“vol” : デフォルト音量の設定

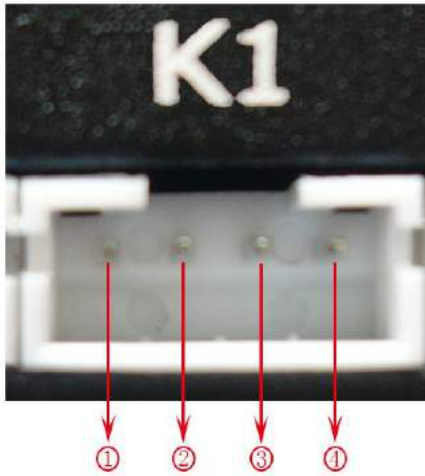
III. ボタン定義の一覧

ボタン 1 の定義例として

| コマンド | ボタン定義 | コマンド | ボタン定義 |
|--------|-----------|-----------|--------------|
| PLAY | PLAY=01 | UP | UP=01 |
| PAUSE | PAUSE=01 | DOWN | DOWN=01 |
| RETURN | RETURN=01 | SETUP | SETUP=01 |
| PREV | PREV=01 | STOP | STOP=01 |
| NEXT | NEXT=01 | VOL_PLUS | VOL_PLUS=01 |
| LEFT | LEFT=01 | VOL_MINUS | VOL_MINUS=01 |
| RIGHT | RIGHT=01 | MUTE | MUTE=01 |

9.2.2 プレイボタンの接続

プレイボタンのコネクタのピン配を以下に示します。



- ① 12V/LED+
- ② KEY
- ③ GND
- ④ LED-



9.3 静止画と音声の BGM 再生

静止画の再生に伴い、音声バックグラウンドとして再生します。2つの方式があります。

・再生方式 1

電源オンしてから、ルートディレクトリの静止画の再生に伴い、音声も自動再生します。

設定方法： ルートディレクトリで“audio”フォルダを作り、MP3 音声ファイルをそのフォルダに入れます。ルートディレクトリにある静止画を再生したら、同時に“audio”フォルダの音声も再生します。

※“audio”のフォルダは変更不可

・再生方式 2

選択したフォルダの静止画を再生する場合、特定のバックグラウンドフォルダの音声ファイルを伴い再生します。

設定方法： バックグラウンドフォルダの“photo_audio”を作ります。例えば、05=photo/ の設定で“photo”フォルダの静止画を再生したら、“photo_audio”フォルダの音声も再生します。

・パラメータの設定

① 静止画の切り替えモードと再生時間

例として、再生定義ファイル autoplay.txt の先頭では、以下の設定を加えます。

Transition=9 静止画切り替えモードの指定。設定範囲： 1～13

Slide_time=5 静止画の再生時間

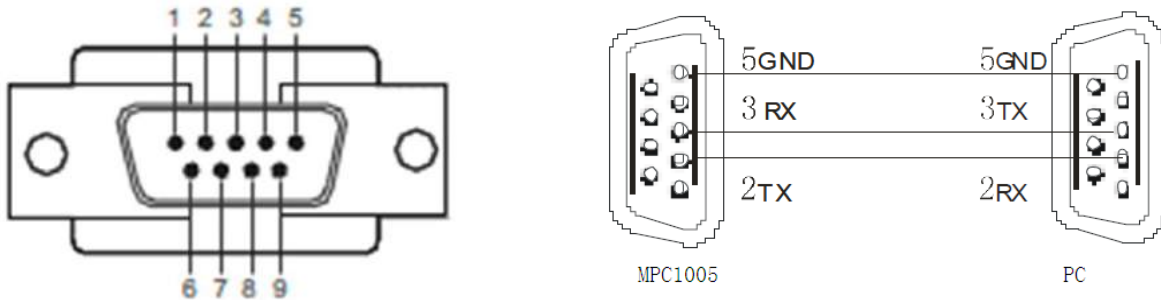
② 音量の設定

例として、再生定義ファイル autoplay.txt の先頭では、以下の設定を加えます。

Volume=10 再生時に音量は自動的に 10 に設定されます。設定範囲： 1～31

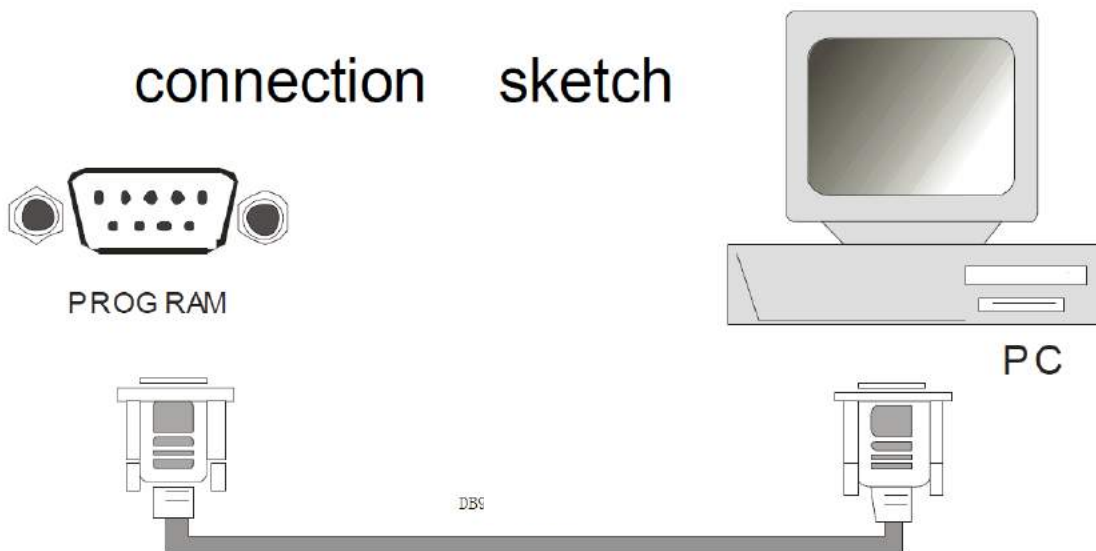
10. RS-232C の制御機能

10.1 コネクタ端子



| インターフェース | RS232(9 pins) |
|------------|---------------|
| RS-232 Pin | 説明 |
| Pin 2 | TxD(データ送信) |
| Pin 3 | RxD(データ受信) |
| Pin 5 | GND(グラウンド) |

10.2 プログラミング時の接続



10.3 RS-232 のコマンド

RS-232のコマンドは、“@XX:CMD\$”の5つの部分で構成しています。

- ・コマンド開始符 : “@”
- ・アドレスコード : “XX”、ブロードキャストアドレスの“00”、ユーザアドレスの“00～99”
- ・隔離符 : “:”
- ・コマンド符 : CMD(表を参照)、又はフォルダの数字名(0～99)
- ・コマンド終了符 : “\$”

コマンドリスト:

| No. | コマンド | 説明 |
|-------|-------------|-----------------|
| 1 | @00:OK\$ | 確認 |
| 2 | @00:UP\$ | 上方向へ |
| 3 | @00:REV\$ | 巻戻し再生 |
| 4 | @00:FWD\$ | 早送り再生 |
| 5 | @00:REP\$ | リピート再生 |
| 6 | @00:MUTE\$ | 音声ミュート |
| 7 | @00:VOL+\$ | 音量アップ |
| 8 | @00:VOL-\$ | 音量ダウン |
| 9 | @00:STOP\$ | 再生停止 |
| 10 | @00:PREV\$ | 前のコンテンツに戻る |
| 11 | @00:NEXT\$ | 次のコンテンツへ進む |
| 12 | @00:ENTER\$ | エンター操作 |
| 13 | @00:LEFT\$ | 左方向へ |
| 14 | @00:DOWN\$ | 下方向へ |
| 15 | @00:SYNC\$ | 同期再生(コンテンツの先頭へ) |
| 16 | @00:POWER\$ | パワーON/OFF |
| 17 | @00:AUDIO\$ | 音声出力変更 |
| 18 | @00:PAUSE\$ | 再生一時停止 |
| 19 | @00:RIGHT\$ | 右方向へ |
| 20 | @00:01\$ | 01 フォルダのファイルを再生 |
| 21 | @00:02\$ | 02 フォルダのファイルを再生 |
| | | |
| 118 | @00:99\$ | 99 フォルダのファイルを再生 |

※プログラミングの詳細は、お問合せしてください

11. トラブルシューティング

警告

理由の如何を問わず、ご自身で修理しようとしたりして、本体の蓋をあけたりすると、保証の対象外となりますのでお気をつけください。本体内部には、高電圧となっている部分があり、蓋をあけると、電気ショックを受けたりすることがあります。本体を修理に出す前に、まずは、次の点を確認します。下記の通りに行っても直らない場合は、お買い上げ頂いた販売店または弊社にお問い合わせください。

| 問題 | 解決方法 |
|-------------------------------|---|
| 映像が表示されません。 | <ul style="list-style-type: none"> ・パワーケーブルと電源スイッチをチェックします。 ・映像ケーブルが正しく接続されているかチェックします。 ・SD(HC)/USBメモ리카ードのファイル形式を確認します。 (フォーマット形式: Windows PC FAT) ・ディスプレイ機器の入力モードをチェックします。 |
| 映像表示が見にくいです。 | 映像調整選択スイッチとボリュームスイッチを使ってデフォルト設定にしてみてください。 |
| 音楽を聴くことができません。 | <ul style="list-style-type: none"> ミュート(消音)になっていないかを確認します。 ・リモコンによるボリューム設定を確認します。 ・オーディオケーブルの接続を確認します。 |
| リモコンが正しく動作しません。 | <ul style="list-style-type: none"> ・バッテリーが正しく装着されていないかを確認します。 ・バッテリーを交換します。(CR2025/3V リチウム電池) ・リモコンの赤外線発射部分を本体の受光部に向けてください。 |
| メモ리카ード上のファイルを再生・表示することができません。 | SD(HC)/USB メモリをパソコンでスキャンディスクを実行してみてください。 |
| コンテンツが表示されません。 | メモ리카ードが正しく装着されていないと、動画、静止画などリスト表示されません。 |

